

製品名: Orai1 (11C14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15491**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	33kDa

抗原情報

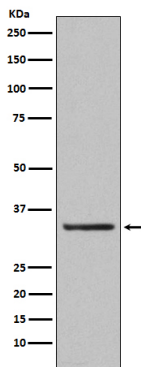
遺伝子名	ORAI1
別名	CRACM1; Orai 1; ORAI calcium release activated calcium modulator 1; orai1; ORAT1; Protein orai 1; TMEM142A;
遺伝子 ID	84876.0
SwissProt ID	Q96D31
免疫原	ヒト Orai1 の合成ペプチド

背景

Ca(2+)放出活性化Ca(2+) (CRAC) チャンネルサブユニットは、細胞内Ca(2+)ストアの枯渇とCa(2+)センサーSTIM1によるチャンネル活性化に続いて、Ca(2+)流入を媒介します。CRACチャンネルはT細胞におけるCa(2+)流入の主要経路であり、転写因子NFATを活性化することで病原体に対する免疫応答を促進します。細胞内Ca(2+)貯蔵量の枯渇とCa(2+)センサーSTIM1によるチャンネル活性化後のCa(2+)流入を媒介するCa(2+)放出活性化Ca(2+) (CRAC) チャンネルサブユニット (PubMed:16582901、PubMed:16645049、PubMed:16733527、PubMed:16766533、PubMed:16807233、PubMed:19249086、PubMed:23307288、PubMed:24351972、PubMed:24591628、PubMed:28219928、PubMed:20354224、PubMed:26956484)。CRACチャンネルはT細胞におけるCa(2+)流入の主要経路であり、転写因子NFAT (PubMed:16582901) を活性化することで病原体に対する免疫応答を促進する。小胞体やゴルジ体におけるCa(2+)含有量とは独立して、乳腺上皮細胞の基底外側膜におけるCa(2+)流入において重要な役割を果たしている。乳汁分泌のために、大量のCa(2+)を上皮透過輸送する役割を担っている可能性がある。

研究分野

画像データ



ヒト血小板溶解物中のOrai1発現のウェスタンプロット分析。